

広報

にしあいづ

1

2023

No.771

飛躍の1年になりますように

もくじ - Contents -

P2 特集1 新年のごあいさつ

P4 特集2 新春特集 年男・年女インタビュー

P6 まちの話題

第4回西会津町社会福祉大会、赤い羽根共同募金引渡し、越冬野菜市 ほか



西会津町議会議長 清野 佐一

皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症はいまだに終息の気配が見えず、県内でも季節の変わり目を迎える度に感染者数を更新するなど、今も私たちに脅威を与え続けています。

町ではこれまで、長引くコロナ禍において、オミクロン株対応ワクチンの接種推進をはじめとした感染症対策と、3年ぶりの開催となった西会津なつかしc a r ショーをはじめとしたイベントの実施や、物価高騰に伴う各種支援事業などの経済対策の両立を推進してまいりました。今後も、町民の皆様の生命と健康を第一に考えながら、各種感染症対策に努めるとともに、町内活性化に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、町では、「西会津町総合計画」で掲げた町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち くずーっと、西会津」の実現に向け、「健やかな人をもとに育むまちづくり」、「温故創新 地産地笑の

まちづくり」、「いきいき健康 ころつながらるまちづくり」、「誰もがこちよく暮らせるまちづくり」の4つの方向性の下、10のプロジェクトを展開しております。さらに、本年は令和5年度から令和7年度までの3カ年の町総合計画・後期基本計画を策定し、「まちづくりの4つの方向性」に加え、「町総合計画に掲げるまちづくりの20分野」、「SDGsの17の目標」を相互に関連させることで、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指します。

町では、急速に進む人口減少やこれに起因するさまざまな課題、長引く新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル化の進展など社会情勢の変化や多様化する住民ニーズを踏まえながら、本年も継続して取り組んでいる人口減少対策の三本柱、「人材育成」、「移住・定住の促進」、「健康長寿」を事業推進の基本的考え方に据え、町民の皆様との公約実現のため全力で取り組んでま

ちづくり」、「いきいき健康 ころつながらるまちづくり」、「誰もがこちよく暮らせるまちづくり」の4つの方向性の下、10のプロジェクトを展開しております。さらに、本年は令和5年度から令和7年度までの3カ年の町総合計画・後期基本計画を策定し、「まちづくりの4つの方向性」に加え、「町総合計画に掲げるまちづくりの20分野」、「SDGsの17の目標」を相互に関連させることで、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指します。

町では、急速に進む人口減少やこれに起因するさまざまな課題、長引く新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル化の進展など社会情勢の変化や多様化する住民ニーズを踏まえながら、本年も継続して取り組んでいる人口減少対策の三本柱、「人材育成」、「移住・定住の促進」、「健康長寿」を事業推進の基本的考え方に据え、町民の皆様との公約実現のため全力で取り組んでま

令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素より町議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

令和5年は癸卯（みずのとう）の年といわれ、卯は干支の4番目に当たります。癸卯は、草木が伸び地面を覆うようになった状態を表し、五穀豊穡を意味し、これから成長する年とのことであります。

【昨年を振り返り】

はじめに、昨年8月3日から4日にかけて発生した豪雨災害で、家屋や農地等に多くの被害を受けられました皆様に對しまして、心からお見舞い申し上げます。

完全に復旧するには時間が必要かと思いますが、令和5年度の作付けに影響がないよう、町と連携を密にしながら、早期に復旧するよう努めてまいります。

さて、終息することを期待しておりました新型コロナウイルスも一向にその兆しが見えず、町民の皆様には日常生活において感染防止にご努力いただいていることに心より感謝申し上げます。そのような状況ではありますが、西会津なつかしc a r ショーやふるさとまつりなどが通常開催され、少しずつ以前の生活に戻りつつもあります。地域経済の回復に向けては、新型コロナウイルスに十分注意しつつ、ウィズコロナ・アフターコロナへ対応していくことも必要かと考えます。

町議会といたしましても、年2回実施してまいりました「議会報告会」が3年間開催できない状況が続いております。皆様と直接お会いし、生の声を聴くことができず誠に残念でなりません。今後は新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、自粛してまいりました活動を再開していきたいと考えております。

また、ウクライナ侵攻や円安などに伴い、私たちの生活

に欠かせない燃料や食料品などの価格が高騰し、さまざまな影響が及んでおります。このようなことから、町議会でも町に對し要望を行い、町民生活の支援に努めてまいりました。特に、燃料や肥料など農業用資材が高騰し、農家の経済的負担が増していることから、農業者の支援について要望してまいりました。

今後も、皆様の声をしっかりと伺いし、住みやすい町づくりに努めてまいります。

【新年度に向けて】

令和5年は統一地方選挙の年であり、6月には町議会議員の改選を迎えます。全国的に立候補者の減少と投票率の低下が問題視されていますが、町民の皆様に関心を持っていただけるよう、魅力ある議会の構築に我々も努力していく所存であり、多くの立候補により活力ある議会構成になることを期待しております。

コロナ禍のため、議会では十分な活動が実施できませんでしたが、町民アンケートの

謹賀新年

明けましておめでとうございます。

令和5年の初春を、町民の皆様と共に迎えられたことに心からお慶び申し上げます。

はじめに、令和4年8月3日から4日にかけての集中豪雨により、奥川地区を中心に

道路や河川、農地などに大きな被害が発生いたしました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧に向けて、鋭意作業を進めているところでありますのでご理解願います。

皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症はいまだに終息の気配が見えず、県内でも季節の変わり目を迎える度に感染者数を更新するなど、今も私たちに脅威を与え続けています。

町ではこれまで、長引くコロナ禍において、オミクロン株対応ワクチンの接種推進をはじめとした感染症対策と、3年ぶりの開催となった西会津なつかしc a r ショーをはじめとしたイベントの実施や、物価高騰に伴う各種支援事業などの経済対策の両立を推進してまいりました。今後も、町民の皆様の生命と健康を第一に考えながら、各種感染症対策に努めるとともに、町内活性化に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、町では、「西会津町総合計画」で掲げた町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち くずーっと、西会津」の実現に向け、「健やかな人をもとに育むまちづくり」、「温故創新 地産地笑の

まちづくり」、「いきいき健康 ころつながらるまちづくり」、「誰もがこちよく暮らせるまちづくり」の4つの方向性の下、10のプロジェクトを展開しております。さらに、本年は令和5年度から令和7年度までの3カ年の町総合計画・後期基本計画を策定し、「まちづくりの4つの方向性」に加え、「町総合計画に掲げるまちづくりの20分野」、「SDGsの17の目標」を相互に関連させることで、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指します。

町では、急速に進む人口減少やこれに起因するさまざまな課題、長引く新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル化の進展など社会情勢の変化や多様化する住民ニーズを踏まえながら、本年も継続して取り組んでいる人口減少対策の三本柱、「人材育成」、「移住・定住の促進」、「健康長寿」を事業推進の基本的考え方に据え、町民の皆様との公約実現のため全力で取り組んでま

います。

また、町では昨年度より、首都圏などの企業に對し、実証事業や研修などのフィールドとして西会津町を活用いただくためのサポートといったしまして「首都圏等企業関係構築事業」を実施しております。本年もこうした取り組みを行いながら、関係人口の拡大に向けて、来町する企業との継続的な関係構築により、共創の取り組みによりデジタル戦略を推進し、将来的な本町への企業移転の実現を図りたいと考えております。

町に活気を取り戻し、この美しい「日本の田舎、西会津町。」の魅力を全国に広め、多くの方に足を運んでいただくような町にするため、本年も職員と一丸となって取り組んでまいりますので、町民の皆様の特段のご理解とご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

本年も皆様にとって健康で笑顔あふれる年になりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。



西会津町長 薄 友喜

皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症はいまだに終息の気配が見えず、県内でも季節の変わり目を迎える度に感染者数を更新するなど、今も私たちに脅威を与え続けています。

町ではこれまで、長引くコロナ禍において、オミクロン株対応ワクチンの接種推進をはじめとした感染症対策と、3年ぶりの開催となった西会津なつかしc a r ショーをはじめとしたイベントの実施や、物価高騰に伴う各種支援事業などの経済対策の両立を推進してまいりました。今後も、町民の皆様の生命と健康を第一に考えながら、各種感染症対策に努めるとともに、町内活性化に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、町では、「西会津町総合計画」で掲げた町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち くずーっと、西会津」の実現に向け、「健やかな人をもとに育むまちづくり」、「温故創新 地産地笑の

まちづくり」、「いきいき健康 ころつながらるまちづくり」、「誰もがこちよく暮らせるまちづくり」の4つの方向性の下、10のプロジェクトを展開しております。さらに、本年は令和5年度から令和7年度までの3カ年の町総合計画・後期基本計画を策定し、「まちづくりの4つの方向性」に加え、「町総合計画に掲げるまちづくりの20分野」、「SDGsの17の目標」を相互に関連させることで、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指します。

町では、急速に進む人口減少やこれに起因するさまざまな課題、長引く新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル化の進展など社会情勢の変化や多様化する住民ニーズを踏まえながら、本年も継続して取り組んでいる人口減少対策の三本柱、「人材育成」、「移住・定住の促進」、「健康長寿」を事業推進の基本的考え方に据え、町民の皆様との公約実現のため全力で取り組んでま

います。

また、町では昨年度より、首都圏などの企業に對し、実証事業や研修などのフィールドとして西会津町を活用いただくためのサポートといったしまして「首都圏等企業関係構築事業」を実施しております。本年もこうした取り組みを行いながら、関係人口の拡大に向けて、来町する企業との継続的な関係構築により、共創の取り組みによりデジタル戦略を推進し、将来的な本町への企業移転の実現を図りたいと考えております。

町に活気を取り戻し、この美しい「日本の田舎、西会津町。」の魅力を全国に広め、多くの方に足を運んでいただくような町にするため、本年も職員と一丸となって取り組んでまいりますので、町民の皆様の特段のご理解とご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

本年も皆様にとって健康で笑顔あふれる年になりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。



明けましておめでとうございます。

新春1月号では、恒例の新年特集として、令和5年の干支である「卯年生まれ」の皆さんに、新年の抱負や夢を伺いました。

今年の目標をすでに決めている人にとっても、これからの人にとっても、皆さまの新たな1年が輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

佐藤さん 昨年も1年通して元気に働くことができました。畑でも良い野菜が収穫でき、サルと戦いながらも楽しんで野菜作りできました。新年の目標は、家族が元気に笑顔で過ごせることと自分が元気に働けることです。今年も道の駅などに野菜を出荷してお客さんに喜んでもらいたいです。

紫藤さん 昨年は、私がコーディネーターを務める家庭教育相談室こころのオアシスが文科大臣表彰をいただいたのを皮切りに、講演会の依頼が増えてとても忙しい1年でした。令和5年も自分と家族の健康を第一に、やるべきことを地道にコツコツとこなしていきたいと思っています。あと、今年こそは家族や仲間と旅行に行きたいです。



しどう まりこ 紫藤 眞理子さん さとう ひろこ 佐藤 廣子さん

昭和38年生まれ、昭和14年生まれ 下野尻



さとう ふみお 佐藤 文男さん

昭和26年生まれ 極入

昨年はなによりも8月に発生した豪雨災害が1番印象に残っています。集落でも被害を受け、災害の恐ろしさを改めて実感しました。また、長引く新型コロナウイルスの影響で遠方にある孫に会えなかったり、趣味でやっているマラソンで大会に出られなかったりと、思うような活動ができない1年でした。

新年を迎え、今年こそはコロナ禍前のような生活に戻ることを祈るばかりです。家族の健康と孫の成長を楽しみに、災害のない1年になってくれればと思っています。以前のようにマラソン大会にもまたチャレンジしていきたいです。

新春特集 年男・年女インタビュー

新年の抱負

昨年は1年を通して健康で、何事もなく過ごせて良かったです。身の回りでは、2番目の子どもが二十歳を迎え成人式（二十歳を祝う会）に出席しました。まだまだですが、子育ての中でもひとつ区切りがついたのかなと感じた出来事です。

新年も引き続き健康に気をつけて過ごしたいと思っています。年齢も重ねてきたので、ウォーキングなど体を動かすことも意識して取り組み、生活していく1年にしたいです。



さとう ゆかりさん

昭和50年生まれ 芝草



おおたけ みほ 大竹 美穂さん

平成11年生まれ 西林

令和4年はいろいろと大変なことが多い年でした。そんな中ではありましたが、久々に東京の方へ遊びに出掛けるなど楽しい出来事もありました。また、1歳になった子どもが「ママ、ママ」とよく呼んでくれるようになったり、一緒にお散歩に出掛けられるようになったりと、成長が感じられることも多くありました。

令和5年は、自分や家族が穏やかに過ごせる年になるといいなと思っています。子どもの成長を見届けつつ、以前から興味のあった資格の取得にも挑戦していきたいです。

毎週末開館中！個人でも団体でも利用できます キッズランド芝草でイベント続々

西会津町子育てコミュニティ施設「キッズランド芝草」では、以前より進めていた授乳室と活動室の改修完了を記念してリニューアルイベントを開催しました。

12月3日、町内で茶道教室を開いている星敬介さんを講師に迎え、親子での茶道体験を開催しました。体験会では、前半に茶道に関する知識や作法を教わり、後半は実際に自分でお茶をたてる体験を行いました。また、同月10日には、元地域おこし協力隊の三富尚美さんによる服を着たまま気軽にできるベビーマッサージ教室が行われました。両日とも、家族間ではもとより参加者同士でも交流が図られました。

◆キッズランド芝草（開館日時など）

開館日：毎週土曜・日曜・祝日（年末年始を除く）

開館時間：午前9時～午後5時

利用料金：町内外者問わず無料

その他：利用時は必ず保護者が同伴してください。

〈問い合わせ先〉

子育て支援センター ☎45-4332

キッズランド芝草 ☎45-3961（開館時のみ）



成果発表やワークショップを開催 西会津高校 ミニ文化祭

西会津高校では、生徒会の皆さんが中心になって11月17日にミニ文化祭が開催されました。当日は、開祭式後に各学年がこの日のために準備してきた発表が行われ、修学旅行で学んできたことの発表やクイズ形式での音楽発表、ダンスなどの成果発表などが行われました。

後半には、令和元年から西高の「そうだん Café」を運営してくれた西高コーディネーターであり地域おこし協力隊の谷口紘子さんから、12月で3年間の任期が終わることが生徒に伝えられ、これまでの「そうだん Café」での思い出を話してくれました。体育館には谷口さんが3年間に撮影した写真を使って作成したモザイクアート写真が飾られ、その周りには生徒が「そうだん Café」への想いを書いて貼り、飾り付けました。[写真提供：西会津高校]



ともに生き、ともに支え合う地域を目指して 第4回西会津町社会福祉大会

11月23日、第4回西会津町社会福祉大会が西会津中学校多目的ホールで開催されました。

大会は、西会津中学校特設合唱部の皆さんによるオープニングセレモニーで開会し、大会長で町社会福祉協議会長の薄町長から地域福祉の進展に貢献された皆さんに表彰状と感謝状が贈られました。そのほかにも小・中・高校生が制作した福祉に関するポスターや作文、スローガンの最優秀作品の表彰や、各団体による活動発表が行われました。大会後には、落語家の春風亭柳太郎さんによるチャリティー寄席も行われ、会場を盛り上げました。

「少しずつ 優しさもちよる 赤い羽根」 赤い羽根共同募金を引渡し

11月8日に西会津小学校（上写真）、12月1日に西会津中学校（下写真）の代表児童生徒の皆さんが町長室をそれぞれ訪れ、各学校で集められた赤い羽根共同募金を町へ引き渡しました。

児童生徒の皆さんは、昇降口などで呼び掛けたり、各教室を回ったりして募金活動を行ってきました。募金を受け取った薄町長は「皆さんが頑張ってくれた募金は、社会福祉の分野で大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



旬の野菜が盛りだくさん 健康ミネラル野菜 越冬野菜市

11月20日、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんによる「越冬野菜市」が道の駅にしあいづで開催されました。特設会場の店頭には、大根や白菜、長ネギなどの冬に旬を迎える野菜が多く並び、町内外から多くの買い物客が訪れました。

また、会場では「おいしいお米フェア」も同時開催され、西会津産米と併せてミネラル野菜の魅力を広く発信しました。





西中図書館 新刊オススメ本



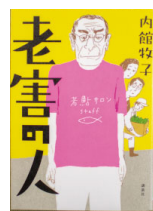
『ワタナベマキの
いんどき乾物料理』
[ワタナベ マキ 著]
NHK 出版

人気料理研究家・ワタナベマキさんが日々作り続けてきた乾物料理は、「切り干し大根の春巻き」「高野豆腐のから揚げ」「ひじきとごぼうの梅煮」など、大人にも子供にも喜ばれるものばかり。パリパリした食感を生かしてあえ物やサラダに、油を合わせて炒め物や揚げ物にと、今まで知らなかった乾物の魅力に出会えます。ヘルシーで栄養豊富、意外に扱いやすく、肉や魚や野菜をプラスして食べ応えのあるボリュームおかずとしても、あともう1品の副菜としても大活躍の乾物料理 60 品が収載されています。従来の乾物料理に物足りなさを感じていたら、ぜひ読んで作ってみてください。



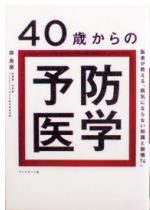
『「強い円」は
どこへ行ったのか』
[唐鎌 大輔 著]
日経 BP 日本経済新聞出版

『40 歳からの予防医学』
[森 勇磨 著]
ダイヤモンド社



『老害の人』
[内館 牧子 著]
講談社

『やっと訪れた春に』
[青山 文平 著]
祥伝社



町民ギャラリー フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・
高橋政二さん（滑沢）の作品です。



📷 作品名 『滑沢川』

📷 作品紹介

滑沢川は、下松の木伏峠を源流とした阿賀川水系の支流で7km余りの清流です。林道下松滑沢線に沿って流れ、滑沢集落で笹川に合流して阿賀川に注ぎます。この滑沢川は集落の近くを流れ、昔は灌漑用水で周囲の田んぼを潤していました。また、昼休み時には洗濯場として、井戸端会議ならぬ川端会議で憩いの場でもありました。この川はいくら雨が降っても氾濫の心配はありません。消防水利として防災にも役立っています。今は農耕機械を洗ったり、野菜を洗ったりしています。



夢をつなぎ、心をつなぎ、 第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会 漣をつなぐ西会津

晩秋の福島路16区間95・0kmを1本の漣^{たすき}でつなぐ第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が11月20日に開催されました。今大会も、白河カタルススポーツパーク（白河市総合運動公園）をスタートに福島県庁前まで漣をつなぎ、町村混合チーム「希望ふくしま」を含めた県内58市町村52チームが出場しました。

西会津町チームは、今大会に向け、佐藤悦美監督を中心に7月から週3回、さゆり公園で練習を重ねてきました。また、本年度は各選手が県内各地で行われたマラソン大会に積極的に参加し、大会の雰囲気を感じながら本番に挑みました。

大会当日は、天候にも恵まれ、選手にとっては絶好のコンディションとなりました。1区の伊藤妃杏選手は強豪ぞろいの女子エース区間で、29位と好位置で次の区間に漣をつなぎました。その後も中高生や町内外の大学生、社会人選手がふるさと西会津のために精いっぱい走り、アン

カーの鈴木俊哲選手へ漣とその思いをつないで、総合37位でゴールしました。今大会では、6区の伊藤亜久里選手が区間25位、9区の築田ゆりな選手が区間22位、15区の三留夕都莉選手が区間20位と好成績を収めました。大会後に行われた解団式では、選手や関係者がお互いをねぎらい、今大会の反省を生かして来年の飛躍を誓い合いました。

漣^{たすき}つないだランナー 「敬称略」

- | | |
|-----|----------------|
| 1区 | 伊藤 妃杏(西会津中3年) |
| 2区 | 大場 悠(西会津町役場) |
| 3区 | 齋藤 湊(東北学院大4年) |
| 4区 | 清野 樹(葵高1年) |
| 5区 | 高津 雄大(田代電機製作所) |
| 6区 | 伊藤亜久里(東会津町役場) |
| 7区 | 高松 翔和(西会津中3年) |
| 8区 | 長谷沼伶皇(西会津中1年) |
| 9区 | 築田ゆりな(西会津中3年) |
| 10区 | 伊藤 大河(早稲田大1年) |
| 11区 | 築田まりな(西会津中2年) |
| 12区 | 薄上 南平(パースルR&D) |
| 13区 | 伊藤 峻(会津若松消防署) |
| 14区 | 山口 圭太(新山手病院) |
| 15区 | 三留夕都莉(西会津中2年) |
| 16区 | 鈴木 俊哲(会津学鳳高3年) |



自治功労者表彰（続き）

■功労表彰【町政の向上発展に貢献】

前町消防団総務本部長 嶋田 之 仁
前町消防団教養本部長 佐々木 忠 直

■功労表彰【治安の維持、災害の防除、人命の救助等に貢献】

元保護司 平 野 茂 穂

■善行表彰【町政の向上発展に貢献】

高目自治区 西 田 晴 雄
株式会社渡部住建（西会津町）
会長 渡 部 伸
株式会社海老名建設（西会津町）
代表取締役 小 柴 芳 郎
株式会社あいづダストセンター（会津若松市）
代表取締役 一 重 卓 男

感謝状贈呈

■自治区長永年勤続者

〔5年勤続〕

本町2自治区長 須 藤 忠 安
原町5自治区長 小 島 洋 一
原町6自治区長 橋谷田 豊
芝草自治区長 新 田 壽 重
大久保自治区長 清 野 慶 久

■納税貯蓄組合長永年勤続者

〔20年勤続〕

黒沢第2組合納税貯蓄組合長 渡 部 謙 一郎



受賞者・感謝状贈呈者の皆さん

長年にわたる功績をたたえ表彰 自治功労者表彰式

町では、11月24日に令和4年度自治功労者表彰式を町役場で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に貢献された17人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。

式では、薄町長が「長年にわたって各分野で尽力されたその功績に対し、町民を代表し衷心より敬意と感謝の意を表します」と式辞を述べました。その後、出席した受賞者の皆さん一人一人に薄町長が表彰状や感謝状を贈りました。

式の最後には、特別功労表彰を受賞した長谷川克美さん（左写真）が「このような表彰を受けることができたのは先輩方や共に活動してきた同僚のおかげです。今後も町の発展のために微力ながら力を尽くしていきたいと思います」と謝辞を述べました。



令和4年度 表彰者・感謝状贈呈者〔敬称略〕

安心安全な冬の生活維持のために尽力

町道路除雪事業感謝状贈呈式

令和4年度町道路除雪事業感謝状贈呈式が、12月1日に町役場で行われました。これは、長年にわたり除雪事業に取り組んだ企業や団体、現場の最前線で除雪業務に献身的に取り組む、技術的にも優秀で後進の見本となる除雪従事者へ、その社会的貢献を表彰することを目的に実施しています。

式では、薄町長が受賞者一人一人に感謝状を贈呈し、「皆さんには、昼夜問わず道路除雪作業に取り組んでいるその労苦に心から感謝を申し上げます。今後とも他の除雪従事者の模範として、後進の育成や技術の継承にご協力をお願いします」と式辞を述べました。



【感謝状贈呈者】（敬称略）

目黒信一（野沢除雪ステーション）、佐藤宗夫（新郷除雪ステーション）、五十嵐要（株式会社海老名建設）、齋藤勇一（株式会社野沢商事）、野中寧（株式会社飯豊建設）

自治功労者表彰

■特別功労表彰【町民の模範となる善行】

在京西会津会会長 新 田 興 助
在京西会津会設立以来、40年の長きにわたり首都圏内の本町出身者と町内関係団体代表者などとの親睦を図る活動に尽力。平成30年11月より西会津応援大使として、本町の情報発信を通じ町政発展に貢献。

■特別功労表彰【町政の向上発展に貢献】

元町消防団第2分団長 新 田 博 美
町消防団員として、34年6カ月の長きにわたり消防人として活躍。平成8年7月からは分団長を務め、団員の指導に励むとともに近代的な消防技術の向上に尽力し、組織強化に貢献。令和3年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章。

■特別功労表彰【町政の向上発展に貢献】

元町議会議員 渡 部 昌
町議会議員として、3期12年の長きにわたり、議会の伸展と町政の向上発展に貢献。平成19年7月からは総務常任委員会委員長を4年間務め、議会の円滑な運営と活性化に尽力。令和4年6月高齢者叙勲で旭日単光章を受章。

■特別功労表彰【町政の向上発展に貢献】

前町消防団長 長谷川 克 美
町消防団員として、48年4カ月の長きにわたり消防人として活躍。平成30年4月からは団長を務め、団員の資質向上と活力ある団運営に尽力。小型動力ポンプ付積載車の拡充にも尽力し、消防力の充実強化に貢献。



新しい民生委員・児童委員の皆さん

任期＝令和4年12月1日～令和7年11月30日

【野沢・尾野本地区】（敬称略）

担当地区	氏名
1町内・2町内北側	鈴木 房
2町内南側・3町内	長谷川 和典
4・5町内	伊藤 美津子
6・7町内	橋谷田 豊
8・9町内駅前通西側	齋藤 豊重
9町内駅前通東側・10町内・下小屋	小柴 正意
芝草	長谷川 美枝子
堀越・芹沼・塩喰	小野木 さよ子
牧・安座	長谷川 貞男
西平・中野・大久保・四岐	清野 義仁

担当地区	氏名
西原・森野	（選考中）
萱本・松尾	小柴 咲子
上小島・尾登	齋藤 広子
下小島・さゆりが丘	伊勢亀 久美
西林・西林東	本間 義治
縄沢・青坂・軽沢	青津 稔
牛尾・山口・出ヶ原	佐藤 政雄
黒沢・小杉山	渡部 孝子
野沢地区〔主任児童委員〕	長澤 文子
尾野本地区〔主任児童委員〕	荒海 孝子

【群岡・新郷・奥川地区】（敬称略）

担当地区	氏名
上野尻1・2・3・4	藤田 静子
上野尻5・6	江川 京子
下野尻南側・端村	藤原 清一
下野尻北側	平野 裕子
徳沢・杉山	山形 正
宝川・白坂	佐藤 末子
屋敷・榎木平・熊沢	佐藤 勇
柴崎・橋立・滝坂	佐藤 勝栄
平明・呼賀・原・新村	貝沼 利則
樟山・滑沢	細野 シズエ
小清水・漆窪・高目・荒木	會澤 真
戸中・橋屋・井谷・八重窪	渡部 カヅ子

担当地区	氏名
向原・塩・下松	伊藤 哲雄
新町・道目	井上 美枝子
山浦・出戸	三瓶 克己
中ノ沢・松峯	矢部 忠夫
中町・小山・真ヶ沢	猪俣 八重子
宮野・梨平・小屋	長谷川 成博
小綱木・大舟沢	宮澤 吉夫
極入	長谷川 恵子
弥平四郎・弥生	小椋 マサコ
群岡・新郷・奥川地区〔主任児童委員〕	佐藤 恵子



▲ 委員を代表して委嘱状を受け取る平野裕子さん



▲ 退任者を代表して感謝状を受け取る岩原稔さん



▲ 誓いのことばを述べる三瓶克己さん

12月1日、民生委員・児童委員委嘱状等伝達式が町公民館で行われ、任期満了に伴い新たに選任された委員42人に対し、薄町長より委嘱状が伝達されました（13頁参照）。委員は厚生労働大臣により委嘱され、任期は令和7年11月30日までです。

また、式では退任された委員の皆さんへ厚生労働大臣や日本赤十字社などからの感謝状が贈られました。

民生委員は、社会福祉増進のため、町民の皆さんの立場で生活や福祉全般に関する相談に応じ、必要な支援を行う地域福祉活動の担い手です。また、民生委員は児童委員を兼ねており、児童福祉に関する活動を専門に担当する「主任児童委員」と協力し、児童福祉に関わる活動も行います。このほかにも、町社会福祉協議会が委嘱する心配ごと相談員や日本赤十字社が委嘱する日本赤十字社協賛委員も兼ねています。

地域の身近な相談相手

民生委員・児童委員（以下、民生児童委員）は、地域の皆さんが安心して生活していけるよう、行政や関係機関へのつなぎ役として、住民の立場に立って生活や福祉に関する相談に応じています。なお、民生児童委員の活動はボランティアであるため無報酬です。

活動内容

- ① 担当地区内の高齢者や障がい者世帯、児童・妊産婦のいる世帯、ひとり親世帯などへの見守りおよび相談支援活動
- ② 地域の身近な相談相手として、福祉制度などの情報の提供や、支援を必要とする人と関係機関のつなぎ役
- ③ 主任児童委員は、各地区の民生児童委員や関係機関などと連携して児童に関する相談支援を行う

一人で悩まず相談を

民生児童委員には、活動上で知り得た情報について守秘義務が課されています。相談内容や個人情報漏れることはありません。困りごとや悩みごとがあれば、1人で悩まず、気軽に相談してください。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係
☎ 45-2214

身近な相談相手、行政などへのつなぎ役として活動 民生委員・児童委員が新体制になりました

知っていますか 民生委員・児童委員



議案16件、報告1件を審議・可決

12月町議会定例会報告

12月9日から14日までを会期に開かれた令和4年第8回町議会定例会では、条例の一部改正や令和4年度補正予算など議案16件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

令和4年8月豪雨災害の復旧状況――

町では、災害発生後、速やかに災害復旧工事に係る測量設計業務を発注し、国の災害査定に備えました。その後、10月中旬から開始された国の災害査定は、公共土木施設が10月21日に、林道施設が11月17日にそれぞれ終了しました。また、農地・農業用施設については12月9日に終了することから、順次、入札などの事務手続きを踏みながら災害復旧工事を発注していく計画です。このうち、特に被害の大きかった塩地区、向原地

区、道目地区、下松地区の農地は、すでに応急本工事として発注しています。なお、国庫補助事業に該当しない道路などについては、緊急度を考慮しながら町の単独事業として順次発注し、復旧工事を実施している状況です。

町総合計画・後期基本計画の策定――

令和5年度から7年度までの3力年の町総合計画・後期基本計画は、今年5月に策定作業を開始して以来、町民の皆さん25人による「総合計画検討会議」と、町職員25人で組織する「総合計画策定プロジェクトチーム」が連携し、策定作業を進めてきました。



▲町民懇談会の様子

10月26日からは「まちづくり基本条例」に基づいて意見公募を開始したほか、新たに町民参加型合意形成プラットフォーム「デンディム」も併せて活用し、11月4日まで計画素案に対し広く意見を募集しました。また、10月26日に奥川みらい交流館で、同27日には新郷連絡所、11月1日には保健センター、同2日には町役場で町民懇談会を開催し、約60人の町民の皆さんが出席しました。

この町民懇談会での意見を踏まえて後期基本計画の原案をまとめ、11月29日開催の町総合政策審議会に諮問し、適当とする答申を受けました。

首都圏等企業関係構築事業について――

本事業は、町デジタル戦略に掲げる共創の取り組みの1つで、昨年度の首都圏等企業による町視察交流ツアーでつながりを持った企業と継続的に関係を深め、町への企業移転などの実現に向けて本年度実施している事業です。

今年6月には、国内大手のコンサルティング企業が町内で耕作放棄地の解消に向けた仕組みづくりに関するプロジェクトイベントを開催しました。このほかにも、11月には、ICT関連企業が「デジタルと防災」をテーマにした勉強会や、国内最大手の総合電子工業メーカーが、中学生を対象としたプログラミングによる光を使った作品製作のワークショップを実施しました。

出産・子育て応援交付金事業について――

本事業は、今年10月に閣議決定された「物価高克服・経済再生実現のための総合経済

対策」において、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに経済的支援を一体的に実施する事業として、新たに創設するものです。

内容としては、令和5年1月より妊娠届出時および出生届出時を通じて、計10万円相当を給付するものです。併せて面談により心配事などの状況を把握し、必要な支援につなげていきます。なお、年度を前倒して実施するため、令和4年4月以降の出産について、さかのぼって適用する経過措置が図られる予定です。

令和4年産米の作柄とモニタリング検査――

農林水産省による10月25日現在発表の米の平均作況指数は、全国で「100」の「平年並み」の見込みとなり、県内では中通りと浜通りで「100」、会津が「99」で全国と同様、「平年並み」となりました。

水稲の作柄については、出穂期以降の日照不足や断続

可決された議案

◆町職員の給与に関する条例の一部改正Ⅱ人事院および県人事委員会の勧告に準じ、職員の給料を平均0.23割、期末・勤勉手当の支給月を0.05月それぞれ引き上げるための改正

◆町長等の給与および旅費に関する条例、議会議員の議員報酬および費用弁償条例の一部改正Ⅱ県知事など特別職および県議会議員の期末手当の改定に伴う改正

◆地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係

条例の整理に関する条例の改正Ⅱ町職員の定年年齢の引き上げなどに係る関係条例の改正

◆町温泉健康保養センター条例の一部改正Ⅱロータスインの温泉施設利用料の改定に係る所要の改正

◆令和4年度一般会計補正予算（第6次）Ⅱ農地・農業用施設災害復旧事業費など9056万4千円を増額

◆令和4年度一般会計等補正予算（第7次）Ⅱ県の改定に伴い特別職および議会議員の期末手当28万6千円を増額

◆西会津ケープルネットの管理に係る指定管理者の指定

◆西会津町総合計画・後期基本計画の策定

◆固定資産評価審査委員会委員の選任への同意Ⅱ高濱悦子さん（8町内）、齋藤和則さん（上野尻）、伊藤重人さん（塩）の選任に同意

温かいご支援ありがとうございます

甘利明彦さん・浅見敏道さん 町へ寄付金

11月16日、神奈川県在住で猟師として活動している甘利明彦さん（写真中央）とその友人の浅見敏道さん（右から2番目）より町へ寄付金をいただきました。甘利さんは50年以上、浅見さんは約40年にわたって福島県の狩猟期間に合わせて狩猟活動に来町しています。甘利さんは薄町長に寄付金を手渡し、「猟での滞在時に町民の皆さんから声を掛けてもらったりお土産をいただいたりと思い出ばかりです。感謝の気持ちを込めて、町のために有効に使ってください」と話していました。



宝くじの社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業で防災用品などを整備

徳沢自治区では防災用品、下松自治区では集会所で使用するエアコンとヒーターを、本年度の一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により整備しました。

コミュニティ助成事業は、地域のコミュニティ活動の充実・強化と住民福祉の向上などを目的に、「宝くじの社会貢献広報事業」として宝くじの受託事業収入を財源に実施されています。

〈問い合わせ先〉 企画情報課 企画政策係 ☎45-4536





◆子どもの主張大会
小・中・高校生が将来の夢や日頃感じていることを発表します。

◆町民健康カレンダー料理でさすけねえ輪
令和5年の料理を毎月紹介していきます。

〈問い合わせ先〉
(二社)西会津ケーブルネット
☎ 45-4461

**ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
1月の放送案内**

お知らせ INFORMATION

別表 必要書類一覧

	運転手の 運転免許証	搬入者本人の 身分証明書	ごみ発生場所 の確認書※	運搬車への 委任状※
本人 (運転者)	○			
本人 (非運転者)	○	○		
本人 (非居住)	○	○	○	
同居親族	○	○		
別居実子・ 実親	○	○	○	
別居親族 (兄弟含む)	○	○	○	○
友人	○	○	○	○

※町役場で発行します。

環境センター山都工場へ家庭ごみを直接持ち込む場合は、ごみが管内から発生したものか、誰が運搬したかを確認するため、別表のとおり提示するものや提出する書類が必要です。このうち、確認書および委任状は町役場で発行していますので、必要な場合は問い合わせください。

ごみの違法な持ち込みや喜多方広域管外からの持ち込みを防ぐため確認するものです。ご理解とご協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉
環境センター山都工場
☎ 0241-383005
町民税務課 町民生活係
☎ 45-2215

家庭ごみを持ち込むときは
運転免許証の提示が必要です

冬を迎え、除雪作業スタート 除雪事業出動式

12月1日、町除雪センターで令和4年度除雪事業出動式が行われました。式では、オペレーターを代表して奥川除雪ステーションチーフの片岡建三さんが「冬の町民生活を守るため、安全で事故のないように取り組んでいきます」と決意表明を行ったほか、除雪車両の点検を行い、降雪時の出動に備えました。



▲ 除雪車両の点検の様子

自力での雪処理が困難な世帯を支援 雪処理支援隊出動式

町では、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援を受けることが難しい世帯の除雪を支援する「雪処理支援隊」を本年度も設置しました。12月1日にその出動式が町役場で行われました。式では、隊員を代表して渡部秀満さんが「支援が必要な皆さんが安心して地域で暮らせるよう、万全の体制で取り組んでいきます」と宣誓の言葉を述べました。



雪による事故防止のため関係機関で連携 雪害対策本部を設置

町では、雪の事故や交通障害などの雪害から町民の皆さんの生活を守るため、雪害対策本部を12月5日に設置しました。

対策本部では、雪崩発生危険箇所の巡視パトロールや、落雪による事故や雪下ろし中の事故防止のための啓発活動など、雪による災害予防に向けて活動を行います。大雪や雪害が発生する恐れがある場合などは、ケーブルテレビや防災行政無線、町ホームページなどで情報をお知らせします。



▲ 看板を掲げる薄町長と渡部町民税務課長

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉
企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536

年末年始もごみの分別の徹底をお願いします！

年末から正月の時期は、ごみの排出量が多くなることが予想されます。家庭から出されたごみは、分別がきちんとされていないと収集できない場合がありますので、分別の徹底をお願いします。

また、ごみは、ごみ袋をしっかりと縛り、時間を守って出してください。

〈問い合わせ先〉 町民税務課 町民生活係 ☎ 45-2215



生ごみを燃えるごみで出すときは、できるだけ水分を切り、持ち運びの負担を減らすようにしてください。



容器の中を洗ってから出してください。



容器の中を洗い、キャップとラベルを外して出してください。キャップとラベルは、「その他のプラ」に分別してください。



容器の中を洗ってから出してください。瓶のキャップは、金属製、プラスチック製など材質に応じて分別してください。



例年、夏と冬は全国的に電力需要が高まるとされています。冬は寒さが厳しい時期です。ですので、できる範囲で省エネに取り組みましょう。

◆家庭での取り組み例

- 冷蔵庫 常温保存できる食品は入れない、たくさん入れ過ぎない、扉を開ける時間をできるだけ短くする など
- 照明 こまめな消灯、LED電球に取り替える、明るさを下げる など
- テレビ 視聴しないときは消す、部屋の明るさに応じて画面の明るさを変える など
- エアコン 適度な温度管理、フィルターをこまめに清掃する など
- ガスコンロ 炎の大きさを鍋底からはみ出ない程度にする など

冬も無理せず
省エネに
取り組みましょう

“西会津町消費支援商品券”を配付します

町では、燃料や食料品価格などの高騰による影響を受けている個人消費の支援と町内経済の活性化を図るため、町民一人当たり5,000円の「西会津町消費支援商品券」を配付します。

- ◆利用期限について 令和5年3月19日（日）まで
- ◆利用できる事業所について

- 同封している「西会津町消費支援商品券・取扱店一覧」に記載のある事業所などで利用できます。詳細は、町ホームページでも確認できます。
- 利用できる事業所などには「西会津町消費支援商品券取扱店」の表示がありますので、利用時に確認してください。
- 原則として第4弾までの商品券と同一の事業所で利用できますが、使用できる事業所の一覧を参照ください。今後、追加となる事業所情報については随時ケーブルテレビのデータ放送や町ホームページなどでお知らせします。
- 商品券の取り扱いを希望する事業者は、西会津町商工会に問い合わせください。

西会津町消費支援商品券（見本）



▲青色が地元店舗専用券。3,000円分を配付



▲桃色が共通券。2,000円分を配付

- ◆商品券について 世帯主宛てに世帯人数分の商品券を送付します。
- ◆基準日

令和4年12月1日に西会津町に住民票がある人が対象です。12月2日以降に転入、出生した人は対象になりませんので注意してください。

- ◆配付時期 ゆうパックで1月中旬以降から配付するため、地区や家庭により配付時期が異なります。「近所が届いているのに、まだ自分には届いていない」ということもありますので、あらかじめご了承ください。

〈問い合わせ先〉

- ◎商品券の取扱全般、取扱事業者について 町商工会 ☎45-3235
- ◎商品券事業全般、配達関係について 商工観光課 商工観光係 ☎45-2213

償却資産の申告
をお願いします

固定資産税は、土地や家屋のほか償却資産（事業用の設備、機械、車両といった資産）に対しても課税されます。償却資産の所有者は、毎年1月1日現在で所有する償却資産の申告が必要です。

町では、会社や個人で工場や商店などを経営している対象者に関係書類を12月中旬に発送していますので、申告期限の令和5年1月31日（火）までに申告をお願いします。

また、申告用紙が届かない場合や新たに事業用資産を所有した場合は、左記まで問い合わせください。

〈提出・問い合わせ先〉

町民税務課 税務係
☎45-2212

喜多方税務署から
確定申告に
関するお知らせ

◆申告は家からe-Taxで

令和4年分確定申告は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からも、自宅からの確定申告をおすすめしています。自身のスマートフォン・タブレット端末またはパソコンから国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」を利用すると、自動計算により確定申告書を作成することが可能です。

◆申告に関する相談について

所得税・消費税・贈与税の確定申告に関する質問や相談は「確定申告電話相談センター」を利用ください。喜多方税務署に電話し、音声ガイダンスに従い「0番」を選択してください。

〈問い合わせ先〉

喜多方税務署
☎0241-24-5050
（音声ガイダンスに従い、「2番」を選択してください）

相談したので
確かに頼みたい

高齢で農業を
やめたい

農地の貸借は

福島県農地バンクへ！

県内の担い手耕作面積 約54,000haのうち、農地バンク契約が
約11,700ha（約21%）（令和3年度末）となりました！

メリット

出し手（農地を貸したい方）
契約が明確で、安心して農地を貸せます。

受け手（農地を借りりたい方）
契約・資料精算事務の軽減が図られます。その他各種補助金の要件となっています。

農地を借りて
規模拡大をしたい！

農地を契約して
作業を効率化したい！

公益財団法人福島県農業振興公社（福島県農地バンク） 〒960-8681 福島市中町8番2号
TEL.024-521-9845（中継り・会津担当） TEL.024-521-9843（浜通り担当） TEL.024-503-0421（被災12市町村担当）
※または、農地の所在がある各市町村農政担当課・各JAまでご相談ください。

ご相談
お問合せ

携帯・スマートフォンはこちらから
<http://www.fnk.or.jp>

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

“生活習慣病”予防のためにできること！

高血圧症や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病は増え続けており、そのほとんどは自覚症状がありません。放置しておくと動脈硬化から心筋梗塞、脳梗塞などの大きな病気に至り、日常生活へ支障が出る場合もあります。そのため、日頃の生活習慣病予防が大切です。

今月は健診結果説明会に参加した皆さんの中から、生活習慣病予防のための取り組みについて聞きました。ぜひ生活習慣改善の参考にしてみてください。

健康増進課 健康支援係
たが りょうこ
多賀 涼子 保健師



生活習慣病予防の基本は、食事と運動です。自分で取り組みそうなことから始め、継続して取り組んでみましょう。また、健診の結果が手元にある方は自分の結果を見直してみましょう。**健診は受けるだけでなく、結果を今後の生活に生かしていくことが大切です。**



自分の食生活を見直したとき、「食べ過ぎ」ということに気がきました。しっかりと1日3食食べていますが、満腹になるまで食べるのではなく、腹八分目にしています。加えて、ベジファースト（野菜を先に食べる）を実践しています。

「運動」は、YouTubeで10分弱の全身を使ったダンスエクササイズを見ながら真似しています。体調に合わせて回数を変えたり、ダンスの気分でないときは、音楽を聴きながら室内バイクを“10分30分以内”を目標に取り組んでいます。天候に左右されることなく、自分の体調やペースに合わせた方法で、楽しく無理なく、1年半以上継続して取り組んでいます。また、体重計を目の付く場所に置くことで、毎日の計測が日課になり、スマホのアプリを利用して体重の記録・管理も行っています。



“100歳になっても走れる体づくり”を目標に、「運動」「食事」「休養」の3つの基本を軸に「社会参加」にも取り組んでいます。

「運動」は、5kmのランニングや筋力トレーニングに励み、45年ほど続けています。始めてすぐに習慣

化したわけではなく、走って辞めてまた走って…の挫折を何度も繰り返して1年ほどかけて習慣化しました。1人で始めた運動でしたが、今では運動を通して多くの人と関わるようになり、運動をすることで夜も熟睡でき、朝の目覚めも良いです。

「食事」では、毎食野菜を取り入れ、1日3食バランスよく食べることを心掛けています。

「社会参加」では、ふくしま駅伝やキッズランニングクラブの指導、シルバー人材センターなど幅広く取り組んでいます。

すごいな！むし歯のない子



11月10日、3歳児4人を対象に健康診査を行った結果、全員にむし歯がありませんでした。

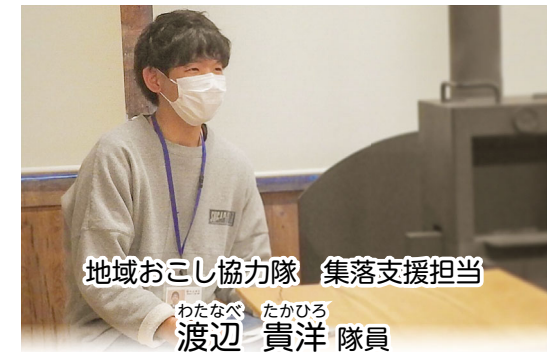


集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

今月の集落支援だよりでは、集落間の連携による地域づくりの様子を2つ紹介します。



当日は冷え込む中、3自治区から計14人が集まり、国道49号の入り口から長桜までの約4kmに及ぶ坂道の落ち葉上げを実施しました。各集落まで続く道路は、住民の皆さんの生活道路となっており、道路の保全面積も人足は欠かすことのできない作業となっています。

その反面、年を重ねるごとに作業は年々大変になっており、秋の人足は、春の作業を軽くするために行われていました。作業してみると、水路には岩山から崩れ落ちた大きな石や山ほどの落ち葉があるなど、水路がきれいになるに連れて冷えていた体もすっかり温まりました。人足は、住民の皆さんと触れ合うことができる貴重な機会となっています。



上谷3集落の人足の様子



ポケットボール

上谷地区では、町外の集落出身者の協力も得ながら作業を実施しています。しかし、参加者の平均年齢はおおよそ70歳であり、住民の皆さんからは、「あと何年できるかわからない」など今後を不安に思う声が聞こえています。

縄沢サロンへの参加

軽沢、青坂、縄沢集落合同で10月から1年ぶりにサロン活動を再開しています。久しぶりのサロンでは、棒体操や町社会福祉協議会が貸し出しをしているゲーム用具の「ポケットボール」で楽しく体を動かしました。

おり、試合は大いに盛り上がり、定期的に住民の皆さんが集まる機会があることは、生き生きと楽しく生活する上で大切な要素の一つだと思います。活動していく中で、お互いに声を掛け合うことが住民同士の見守りにもつながっているように感じます。特に、これから冬を迎えるにあたり、外出する機会も減りますが、輪投げの練習など体を動かす時間を作り、楽しく健康に過ごせるといいですね。

1年を終えて

あっという間に令和4年も終わりを迎えるようになっています。1年を過ぎることが年々早く感じるようになってきました。これから西会津は本格的な冬を迎えます。除雪中の事故などに気を付けながらお過ごしください。

戸籍の窓口

(11月受付分)

■ まちの人口

	12月1日現在	(前月比)
人 口	5, 7 1 2 人	(- 1 1 人)
男	2, 7 8 7 人	(- 3 人)
女	2, 9 2 5 人	(- 8 人)
世 帯	2, 5 3 2 世帯	(- 6 世帯)

■ ご結婚おめでとう

新田 直人 萱本
土田 葉央 上野尻

塚原 鉄也 下野尻
大谷 利絵 広野町

■ お悔やみ申し上げます

小島 ハルイ (90)	暁介 母	4町内
齋藤 周造 (90)	勝重 父	9町内2
長谷川 双葉 (81)	安治 妻	中野
長谷川ツルヨ (92)	覚 母	松尾
原田 淑子 (96)	謙軒 叔母	徳沢
伊藤 キク子 (94)	正市 母	呼賀
上野 時雄 (84)	保雄 兄	呼賀
宮川 二夫 (92)	幸一 父	真ヶ沢



Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・卓球部 部長]

すぎはら さわ
杉原 桜和 さん

◆ 私の夢——

私は将来、助産師になりたいです。そう思うようになったきっかけは、テレビドラマの「コウノドリ」を見て、「私も命が誕生する現場で働いてみたい！」「かっこいい！」と思ったからです。

◆ 努力していること——

今、助産師になるために努力していることはあまりありませんが、将来への選択肢が増えるように勉強に取り組み、希望する高校へ進学できるように頑張っています。

◆ 未来の自分に一言——

自分のやりたいことをやり続けて、常に努力をしていってください。そして、幸せな日々を送ってください！

Person

町民バトンタッチ

すとう とみこ
須藤 富子 さん [原]

◆ 趣味は？

歌うこと、読書

◆ 特技は？

早食い

◆ 熱中していることは？

米農家なので米作りを一生懸命熱意を持ってやりたい

◆ 自分を一言で表現すると？

ずぼら

◆ あなたのモットーは？

くよくよしない

◆ 最近感動したことは？

池の金魚が8月の雨で流されてしまったが、ある日池を見たら小さな金魚が泳いでいたこと

◆ これからやってみたいことは？

耕作していない畑があるので花を植えたい

◆ 次の方を紹介してください

S・Wさん



とっておきの物は？

民謡大会のトロフィー。趣味でやっている民謡ですが、評価を受けると励みになり、何か賞をもらえると嬉しいです。

Column

協力隊リレーコラム

日本の田舎に「結」を紡ぎたい

西会津町は四季折々に違う表情をみせる。春は鮮やかな春色の桜が舞い、夏は青々とした新緑が映え、秋は燃えるように真っ赤な紅葉が広がり、冬は真っ白な雪が深々と積もる。こんなに身近に四季を感じるの生まれて初めてだ。地元の人にとっては当たり前でも、移住者にとっては違う。この土地の四季との付き合い方を西会津町に来てからというもの、地元の方からたくさん教わってきた。もっぱら、商店や床屋、温泉・サウナなどは私にとっての学び舎だ。

この土地で生きる知恵、「人足」や「結」などの共助・互助文化は、絶やすことなく、次の人に繋いでいかなくてはならない。それは地元の人はもちろんだが、これからの超少子高齢化社会の西会津町ではそれだけでは厳しい。地域の外でも西会津町のことを好きで、想ってくれる人たちの存在が今後の西会津町には必要なのかもしれない。地域内外の人と共に未来型の「結」を少しでもこの土地に紡ぎ、西会津町の大切なものを守り、次に繋いでいきたい。

これからは、近くの親類（地元）も、遠くの他人（交流・関係人口）のどちらも大事だ。私は、引き続き地域の内外の「結」を紡ぐ人であり続けたい。



は せ が わ こ う じ
長谷川 幸志 隊員

協力隊4年目。埼玉県出身。奥川にて下宿しながら、町教育委員会でICT教育推進・地域協働学習支援分野にて活動中。趣味は温泉・サウナ。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その69

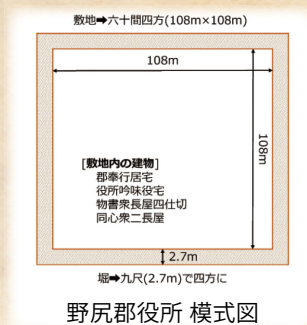
文：田崎 敬修

3つの代官所を統括した野尻郡役所

寛政3年（1791）、野沢・山三郷・津川の3代官所を統括する郡役所が上野尻村に設置され「野尻郡役所」と称しました。天明2年（1782）の大凶作の年、坂下や北方（喜多方）に「庶民の労費を省くため」として郷役所が初めて設置されました。会津藩は当時、郷頭が領主のように農村を支配していることを改めようと考えていたので、この時、郷頭の権限のかなりを郷役所に移したのです。翌年5月に猪苗代・滝沢・飯寺・津川にも設置されますが、同年12月に廃止となり再び郷頭が復活します。どうした訳でしょうか。今度は5年後の天明8年（1788）、中荒井・浜崎・戸ノ口・片門に郷役所が設置され、24カ所あった代官所が15カ所に統合されました。この時の片門郷役所が只見川の洪水にたびたび悩まされていたため上野尻に移転したのです。

野尻郡役所は荒井林（旧群岡中学校付近）に、「六十間四方、九尺の堀四方通り」の規模の中に郡奉行居宅・役所吟味役宅・物書衆長屋四仕切・同心衆二長屋がありました。この造成には各代官所の村々からかなりの人数の人数が徴集されたようです。上野尻村は、会津西部の3代官所を統括する中心地

になったため、文化12年（1815）、村肝煎が今まではなかった駅検断を兼務することになったのです。しかし、この検断職は郡役所が設置されている間だけの期限付きでしたが、文政2年（1819）に野尻郡役所（他の郡役所も）が廃止になりますが、肝煎・石本家は代々願いを出して検断職を勤めます。廃止の理由は、事務手続きに若松へ人が来なくなり不景気になったのと行政の簡素化があげられていますが明確ではありません。役所跡は44両1分2朱で競り落とされています。28年間の存続でしたが、上野尻村にとっては大変な活況をもたらした郡役所だったのです。（参考文献『西会津町史第1巻・通史I』）



編集後記

明けましておめでとうございます。令和5年も皆さんにとって、素晴らしい1年になりますよう、心よりお祈りいたします。

今回の編集後記を執筆するにあたって、「令和4年はどんな出来事があったかな？」と、今年発行した広報紙を見返してみました。すると、令和4年だけで3回も成人式（1月に令和2・3年度成人式、8月に令和4年度20歳を祝う会）を取材していることにびっくり。これに限らず、入学式や卒業式、百歳賀寿など、多くの皆さんのさまざまな節目の場面に立ち会えるのは、広報紙担当ならではの楽しみかもしれません。令和5年はどんな場面に出会えるのか今から楽しみです。（秦）

